

2022年10月12日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野崎 秀 則  
(東証スタンダード市場・コード番号2498)  
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦  
TEL 03-6311-6641

## 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル Bangladesh 国 クロスボーダー道路整備事業 カルナ橋 開通式

2022年10月10日、Bangladesh国ゴパルガンジ県にて、当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二）を幹事会社とした共同企業体\*が、フィジビリティスタディ及び、詳細設計、施工監理等のコンサルティングサービスを担当した、「クロスボーダー道路整備事業 カルナ橋」の開通式が行われました。式典には、Bangladesh側からシェイク・ハシナ首相、オバイドゥル・カデル道路交通橋梁省大臣らが、日本側から伊藤直樹 在Bangladesh日本国特命全権大使、市口知英 JICA Bangladesh事務所長らが出席されました。

\*株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、株式会社パデコ



会場でスピーチされる  
ジェイク・ハシナ首相



左上：会場でスピーチされる伊藤直樹大使



右2番目：サヒーダ・スルタナ氏（ゴパルガンジ副長官）  
右3番目：同社執行役員道路交通事業部長 小西知行さん  
右端：同社ダッカ事務所長 浅野雄司さん  
左端：同社橋梁エンジニア 安藤増美さん



カルナ橋全景  
(ニールセン・ローゼ橋)

Bangladesh の運輸は旅客数・貨物量の約 7 割が道路輸送に依存している状況ですが、一部の道路・橋梁は老朽化が進み国際幹線道路としての機能を維持できていない箇所が多数残っています。本事業は同国と周辺国とを繋ぐ主要道路において約 20 橋梁の架け替えもしくは新設を実施するものです。

今回開通したカルナ橋の架設地はモドゥモティ川を渡河する首都ダッカとインドのコルカタを結ぶアジア・ハイウェイ 1 号のほぼ中間地点です。ここではこれまでは台船による渡河を強いられてきましたが、台船による渡河は近年の経済発展と増加する交通量に追いつかず経済活動に多大な影響を及ぼしており、この地への橋梁の建設が渴望されていました。

カルナ橋は中央部にニールセン・ローゼ橋を、両端に PC-I 桁橋を適用し、施工は鉄建建設、アブドゥル・モネム・リミティッド、横河ブリッジ共同企業体が担当し、契約工期限内に完成しました。

本橋の建設により主要都市間の交通、物流ネットワークの改善がなされ、周辺国との貿易促進、さらには南アジア全域の経済発展に大きく寄与することが期待されています。

同社は質の高い、信頼できる、持続可能かつ強靱なインフラ整備を通じて、当該国の経済発展を支援しています。



以上

<本資料に関するお問い合わせ先>  
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル  
担当 広報室 富田早季  
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020  
[URL:www.ocglobal.jp](http://www.ocglobal.jp)